

編集後記

▽『駒澤大學禪研究所年報』第二十三号をお届けいたしました。本号には投稿論文四本と共同研究二篇、書評一篇を掲載しました。今回も所員のみならず外部の方々からもご寄稿いただき、幅広い分野の論考を提供することができました。原稿をお寄せいただいた先生方に、この場を借りて御礼申し上げます。

▽一九九〇年代のバブル経済の崩壊。今年三月の東日本大震災や原発事故による「絶対安全神話」の崩壊。そして、ヨーロッパ財政危機を他山の石とできない国家経営者。今や、第三のバブル崩壊が目前に迫るなかで増大する社会的不平等。私たちは一体なにをどうすればよいのでしょうか。一方、国全体はあまり豊かではないものの、GNH (Gross National Happiness) を国是とする世界一国民が幸せな国・ブータン。その国からこの秋来日したワンチュク国王一行がもたらした一時の清涼感。彼我の差に瞭然とするとともに、三・一一で再浮上した自己存在に対する深い問いかけが、新たな公案として提示された一年であったように思われます。「禪」にか

かわる人間として、また、その組織として、我々は一体何者なのでしょうか……。

▽最後になりましたが、本号出版に際しご尽力いただいた関係各位の皆さまに、重ね重ね感謝申し上げます。

(編集係)

駒澤大學禪研究所年報 第二十三號

二〇一一年十二月二十五日 印刷

二〇一一年十二月三十一日 発行

発行者 駒澤大學禪研究所

〒一五四―八五二五

東京都世田谷区駒沢一丁目二十三番一号

電話 〇三(六三三八)八九〇三(深沢校舎内)

代表者 石井修道

印刷所 東京技術協会

東京都港区三田四一八一―四一

電話 〇三(三四四四)二七一六